

3月8日(月)全校朝会

初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。
これを見てください、これは、先週行われた深大寺のだるま市で
校長先生が買ってきただるまです。



毎年、3月の3日と4日に行われる深大寺のだるま市は、「日本三大だるま市」の一つとして、また東京に春を呼ぶ深大寺のだるま市としてとても有名なものです。深大寺のだるまの特徴は、この目です。ふつうは、ダルマを買った人がマジックや筆を使って自分で目を入れるのですが、深大寺では、お坊さんが直接目を入れてくれます。しかもこの目に丸い目玉ではなく、インドの古い文字(梵字)を入れるというのも深大寺独特のものだそうです。左目には物事の始まりを意味する「阿」(あ)の字を入れて、願いが叶ったらダルマの右目に物事がうまくいったことを意味する「吽」(うん)の字を入れもらい感謝の気持ちを込めてお寺に納めるのだそうです。

校長先生は、北ノ台小の子供たちの健康と勉強がしっかりできることを願って目を入れてもらいました。今日から一年間、校長室のだるまがみんなのことは見守っていますよ。

今日は、深大寺のだるま市についてのお話をしました。

何度転んでも起き上がるだるまのように、皆さんも少くく失敗してもくじけないう立ち上がってくださいね。お話を終わります。